

平成25年度一橋大学法科大学院入学者選抜試験

小論文試験問題

・解答上の注意

1. 問題文は6枚、解答用紙は1枚(表・裏)、下書き用紙は1枚です。
2. 解答用紙に、一橋大学の受験番号を記入してください。氏名は絶対に記入しないでください。
3. 解答は横書きにしてください。
4. 解答用紙は、受験番号を記入する面が表になります。小問1を表に、小問2を裏に解答してください。解答用紙は、白紙である場合も含め、すべて提出してください。
5. 解答用紙の追加、交換はしません。
6. 解答用紙の余白は採点者が使用するので、誤字脱字の訂正のほかは使わないでください。
7. 問題の内容についての質問には、応じません。
8. 試験終了後、問題文と下書き用紙は、持ち帰ってください。

問題

下の文章を読んで、次の問いに答えなさい。

小問1 下線部Aについて、筆者はなぜそのように述べているのか。歴史における「証拠」と「真実」の結びつきに関する筆者の考え方に留意しながら説明しなさい。(句読点も1字と数え、800字以内とする。)

小問2 本文の最後に言及されている「生き残った者」としての「目撃証人」について、具体的な例を挙げながら、あなたの考えを述べなさい。(句読点も1字と数え、1,000字以内とする。)

[問題文]

(この問題は著作権の関係により、文章の出典と引用箇所のみを表示します。)

【カルロ・ギンズブルグ(上村忠男訳)『歴史を逆なでに読む』(みすず書房、2003年) P99～P127:「一人だけの証人——ユダヤ人大量虐殺と現実原則」。原文の一部を省略し、表記を変更した箇所がある。】